

平成21年度 総括と各部局事業報告

〔 自 平成21年4月1日 〕
〔 至 平成22年3月31日 〕

基本方針通り、公益社団法人移行準備に邁進してきた。公益社団法人の認定準備としてITコードを取り、理事各位の協力を得ながら準備委員会では公益認定法に適合するよう現行の機関、事業等の精査と必要な見直し、新々公益法人会計に則った会計処理、定款変更案の作成を行った。

平成21年度は全鍼師会大会と日東医学術大会が共同開催と形を変えて、北海道で予想を超える多くの参加を得て盛会裏に開催できたことは北海道師会、地元養成学校と学生及び各師会並びに理事各位のご協力の賜と衷心より感謝を申し上げる。

生涯研修は医療関係者にとって必須のことであり、受講し易い環境整備に努めた結果、研修事業を(財)東洋療法研修試験財団へ届け出る師会と受講者が共に増加したことは嬉しいことである。

保険の療養費については、引き続き厚生労働省との実務者協議において努力をしている。

はり・きゅう・マッサージの日（8月9日）に各地でのイベントは年々盛り上がりのある開催であった。

社会貢献を目指す事業として新たに視覚障害者を対象とした5名の委託訓練を実施し、4名が就職することが出来た。

1 総務局報告（含：新公益法人移行準備委員会）

会務の円滑な運営を図ると共に、下記の会議を開催した。

定期代議員会・通常会員総会

5月17・18日 東京西新宿「京王プラザホテル」において、平成21年度の全鍼師会定期代議員会、通常会員総会を開催した。

監査会

4月17日 全鍼師会3階会議室において、佐藤 憲、杉山誠一両監事による、平成20年度事業及び収支決算に関する監査を実施した。

理事会

第1回 4月12日 全鍼師会3階会議室において、平成20年度事業報告及び収支決算（案）、平成21年度事業計画及び収支予算（案）等を審議した。

第2回 5月17日 京王プラザホテルにおいて、代議員会・総会の対応と地方提出議案等について諮った。

第3回 6月20日 全鍼師会3階会議室において、各部局による年間スケジュールの調整、新公益法人移行にあたり課題の検討と進め方等について審議した。

第4回 11月23日 全鍼師会3階会議室において、全鍼師会大会 in 北海道の総括、都道府県師会会長会の件、新公益法人移行準備の件等を審議した。

常任理事会

第1回 7月22日 全鍼師会4階会議室において、新公益法人移行準備委員会より、公益目的事業等の実施について常任理事への要請。事務職員の増員について承認を得た。

第2回 10月17日 全鍼師会4階会議室において、全鍼師会大会 in 北海道の開催について、新公益法人移行準備委員会からの報告等を議題とした。

第3回 2月11日 全鍼師会4階会議室において、平成22年度事業計画にあたり、新公益法人移行準備委員会からの検討結果の報告等を

議題とした。

正副会長会議

5月16日 全鍼師会4階会議室において、代議員会、総会等の進め方について協議した。

12月12日 全鍼師会4階会議室において、都道府県師会会長会の進め方と新公益法人移行に伴う課題等を協議した。

都道府県師会会長会

12月13日 東京・京王プラザホテルにおいて、全国48師会会長（内5師会は委任状出席）と常任理事10名全員が出席して開催した。

第8回全鍼師会大会 in 北海道

11月1～2日 第35回日東医学会学術大会との共同開催となり、全国から集まった会員と地元の学生や市民の協力を得て盛大に開催された。

マッサージ等将来研究会

業界7団体と日東医が参加し3部会に分けて活動してきた。法令部会は法制局、生涯教育部会は学術局、普及・啓発部会は総務局が担当している。普及・啓発部会としては、今年度は部会を4回開催し、山本総務局長が委員として参画した。

会員管理システム利用講習会

1月31～2月1日 会員管理を的確に行うため、ホテルJALシティ四谷東京において会員管理システム利用講習会を開催した。

新公益法人移行準備委員会

公益社団法人移行認定申請に向けて、委員7名に公認会計士を加え、さらに議事内容によっては各局長、顧問弁護士の出席を求めて以下のとおり委員会を開催し、定款変更案、関係規程案を取りまとめた。

第3回 7月22日 ・事業の見直しについての各部局からの報告について
・ID番号の取得と申請シュミレーションについて

第4回 8月20日 ・事業見直しに係る所要額及び公益事業費率について
・財務関係の留意点について

第5回 9月17日 ・都道府県師会との関係について

- ・新代議員制度の導入について
- ・公益目的事業費率の達成見通しについて
- 第6回 10月22日 ・都道府県師会会長会における対応について
- ・前回までの懸案事項の協議について
- 第7回 11月19日 ・都道府県師会会長会における講演、取り組み状況報告について
- ・前回までの懸案事項の協議について
- 第8回 12月22日 ・公益目的事業の選定について（予算、経費関連を含む）
- 第9回 1月22日 ・公益目的事業の選定について（予算、経費関連を含む）
- ・定款変更案について
- 第10回 2月24日 ・定款変更案について
- ・公益目的事業の前倒し実施について
- ・最初の代議員の決め方について
- ・予算、決算について 等
- 第11回 3月29日 ・定款変更案について
- ・関係規程の改正等について
- ・財務関係について

安心のマークの普及

全鍼師会「安心のマーク」使用許諾申請が43件あった。アクリルプレート「安心のマーク」は通算2028枚。

各ブロック会議

- 4月26日 近畿鍼灸マッサージ師会連盟理事会（大阪）に会長出席
- 5月9～10日 九州鍼灸マッサージ師会連盟代表者会議（別府市）に会長出席
- 6月14～15日 中部ブロック会議（焼津市）に会長出席
- 6月27日 中国ブロック会議（広島市）に会長出席
- 7月5～6日 東北鍼灸マッサージ師会連合会・学術大会（青森市）に会長出席
- 7月26～27日 関東甲越ブロック協議会（千葉市）に会長出席
- 7月12日 北陸ブロック会議（富山市）に会長出席
- 2月27～28日 四国ブロック協議会（松山市）に会長出席

都道府県師会周年記念式典等

- 6月7日 栃木県師会法人化30周年記念式典・祝賀会に会長出席

- 10月11日 熊本3社団法人合併記念祝賀会に会長出席
- 12月6日 宮城県師会創立70周年・法人化35周年記念式典・祝賀会に会長出席
- 2月7日 大阪府師会法人化50周年記念式典・祝賀会に会長出席

2 財務局報告

- (1) 平成21年度決算の会計基準について
- 1) 平成21年度決算は、新々会計基準にて実施する予定であったが、公益法人移行認定申請手続き上の便宜を考慮して、平成16年度の会計基準にて実施した。
 - 2) 平成21年度勘定科目について
勘定科目についても、概ね平成16年度会計基準にて実施した。
- (2) 年会費納入期限の徹底について
- 1) 年会費納入期限は、12月31日である。
 - 2) 期限厳守の徹底を図るため、各師会担当者へ早期納入をお願いした。また東京都師会には会長、財務局長が直接訪問して、今後の年会費納入や早期納付等を依頼した。
 - 3) 7月末までの年会費早期納入取扱手数料について
7月末までの早期納入にご協力を頂いた37師会には納入額の2%を取扱手数料として総額131万円の支払をした。
- (3) その他について
- 1) 厚生労働省の内部留保の調査について
内部留保率30%内に改善指導が監督官庁内の特例民法法人対象に調査があり、当師会は20%に改善した旨報告した。
 - 2) 新入会者の入会手続きについて
各師会へ新入会者の入会手続きについて、110番損害賠償保険加入にトラブル等、発生しないよう事務手続きに遅延の無いようお願いした。

3 学術局報告 (含：鍼灸部・マッサージ部・スポーツセラピー部・学術委員会)

学術局においては、鍼灸マッサージの学術振興及び鍼灸マッサージ師の資質向上に寄与すべく以下のとおり事業を実施した。

- (1) 各師会が実施する生涯研修の一層の普及促進を図るとともに、その実施について

財団「生涯研修実施要領」手引きの差し替え用（21年度版）を各師会長へ郵送する等各種の支援を行った。

*21年度 財団・生涯研修実施師会

北海道：北海道（1/1）

東北：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島（6/6）

関東甲信越：茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、新潟（7/9）

北陸：富山、石川（2/3）

中部：長野、静岡（2/5）

近畿：京都、大阪、兵庫、和歌山（4/7）

中国：鳥取、島根（2/5）

四国：徳島、香川、愛媛（3/4）

九州：佐賀、長崎（2/8）

総計29師会（48師会）

*財団共催の生涯研修実施師会

北陸：石川

- (2) 各ブロック・各師会学術研修会、生涯研修会等への講師派遣を行った。

(21師会)

- (3) 全鍼師会大会 in 北海道において分科会を担当し、以下についての研究・取り組み結果の発表等を行った。

「鍼灸医療推進研究会」「マッサージ等将来研究会」「スポーツセラピー部会」

- (4) マッサージ等将来研究会

「生涯・教育部会」を担当し、高田学術局長が委員として参画した。

(開催日：8月30日、10月12日、12月23日、2月14日)

各部正副部会長会議（10月24日）

- (5) 鍼灸医療推進研究会

次の委員会に杉田会長他が委員として参画した。

運営委員会（杉田会長・高田学術局長・木村学術委員）

(開催日：7月4日、9月9日)

運営作業委員会（高田・木村）

(開催日：5月21日、7月16日、11月12日、3月21日)

研修作業部会（高田・中田・往田）

(開催日：4月2日、4月11日、5月14日、6月6～7日、7月9日、

7月30日、9月3日、10月1日、10月22日、11月7日、11月15日、12月17日、1月21日、2月11日、3月4日)

普及啓発部会（木村）：

（開催日7月23日、9月17日、11月11日、1月21日、3月18日）

(6) (財) 東洋療法研修試験財団

高田学術局長が委員として参画した。

生涯研修実施作業部会会議（開催日：6月4日、9月2日）

情報提供委員会（開催日：11月12日）

(7) 鍼灸安全性委員会

杉田会長と高田学術局長が委員として参画するとともに、「鍼灸医療安全対策マニュアル」を分担執筆し、発刊に至った。（平成22年3月20日発行）

(8) 学術団体・研究機関との連携を密にするため、次の学会に出席した。

1) 日本東洋医学系物理療法学会

2) (社) 全日本鍼灸学会

第58回全日本鍼灸学会学術大会（埼玉）6月12～14日

3) (社) 日本東洋医学会

第60回日本東洋医学会学術総会（東京）6月19～21日

(9) 学術委員会

学術局が行う各事業の実施、関係団体との連携、協力について検討、協議した。（開催日：7月11日、8月23日、9月26～27日、11月26日、2月18日）

4 法制局報告（含：無資格無免許対策委員会）

(1) 無資格無免許対策委員会

第1回 7月2日

1) 各師会にはり・きゅう・マッサージの日の活動、無免許対策に関する活動等各種の取り組み事例の冊子を作成して、全鍼師会大会 in 北海道の分科会で配布し、各地における無免許対策の参考資料となるよう働きかける。

2) 「この広告私たちはできません」として無免許業者の違法広告の実例を示した啓発ポスターの作成を検討。

第2回 10月1日

1) 全鍼師会大会 in 北海道の分科会の分担と、はり・きゅう・マッサージの日のパネル、ポスター・ちらし等の展示を分科会会場でコーナーを設ける。

2) 参議院新議員会館における施術所の対応と対策を協議。

第3回 10月31日

- 1) 鳩山総理の打ち出している東アジア共同体構想はASEAN諸国と日中韓三国を想定していると思われる。今後タイ・スパ問題と深く関わってくると懸念され対策案を協議。

第4回 3月14日

- 1) はり・きゅう・マッサージの日を含む8月を東洋療法予防医療推進月間とする運動展開が委員から提言された。時期や予防に限定するかも含め長期的視野で検討課題とする。
- 2) 奈良県の特養でNPO法人がタッチセラピーを実施していることにつき問題点を検討。

(2) あはき等法推進協議会

あはき等法推進協議会（構成：関係7団体）は、4月23日、7月2日、9月10日、11月19日、2月18日の5回開催。

本年度は、あはき法、日・タイ経済連携協定、無資格無免許問題等について協議するとともに、以下のとおり関係省庁等に事情説明、要望等を行った。

- ・参議院事務局に対し、新参議院議員会館内の施術所開設は、免許のある有資格者が施術を行うよう要望書を提出した。（9月10日）
 - ・外務省に対してタイ・スパサービス受け入れ反対の陳情書を手渡し、断固反対する旨の陳情を行った。（10月30日）
- その後、日・タイ経済連携協定に基づく自然人の移動に関する追加的な交渉が外務省（東京）で行われ（12月21日）、タイ・スパ・セラピスト受け入れ交渉は3年間凍結となった。
- ・「リンパ浮腫指導管理料等の算定要員に係る要望書」を厚生労働省保険局に提出した。（11月19日）
 - ・消費者庁に対し、景品表示法にて一般消費者に誤認を与える虞のある広告について相談をした。（3月29日）

(3) 無資格無免許問題啓発ポスターの作成

無資格無免許対策委員会が検討してきた啓発ポスターを15,000枚作成し、全国に配布。各施術所に掲示する等により啓発に努めた。

(4) その他

- 1) 国税庁課税部個人課税課に所得税の医療費控除は有資格者、無資格者が行ったかを問わずカイロプラクティック及び整体の費用は控除対象外とするよう事情説明と要望を行った。
- 2) これまでの取り組み成果として、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう

う師等に関する法律等の一部を改正する法律案が衆議院で4月3日、参議院で4月15日可決された。

5 保険局報告（含：保険推進委員会）

（1）厚生労働省との保険問題に関する定期協議の実施

関係4団体で構成する「鍼灸マッサージ保険推進協議会」に吉井保険局長・往田委員が参画し、保険問題について厚生労働省との定期協議（毎月最終水曜日）を計12回、臨時協議を1回（5月13日）開催。主な協議事項は以下のとおり。

- はり・灸に関する委託事業についての経過並びに次年度計画の実行を要請
- マッサージに関する取り扱いについて
- 医師の同意のあり方と同意書不要の取り扱いに向けての意見交換を実施
- 各師会、地域における事例についての意見統一
- 療養費の取り扱いについて意見交換 等

この結果、地域の案件に対応がスムーズになる等の改善がみられた。

また、4団体の団体長会議を計4回開催し、定期協議の状況報告と問題点の対応策等を協議した。

（2）「保険者機能を推進する会」及び「健保連本部」との意見交換の実施

7月5日「保険者機能を推進する会」を訪問し、委任払いに対する理解を求めて意見交換を行った。

また、健保連本部に赴き健保連発行の「療養費に関するQ&A」に関し、内容の是正を含めて意見交換を行った。

（3）全国保険担当者会議の開催

8月23日 東京において開催。

午前：今回初の試みとして、比較的取扱件数の少ない師会を対象に全国の取り扱いノウハウの平準化を図ることを目的として「取り扱い事情座談会」を開催。該当する7師会からの9名と保険推進委員、並びに杉田会長が出席し、意見交換、質疑応答等を行った。

午後：例年どおり「全国保険担当者会議」として全国から43名が出席。療養費制度の現状と取り組み状況を説明するとともに、質疑応答を行い、受領委任払いの協定の締結等5項目の要望がかなえられるための環境作りを各師会で進めるよう要請するとともに、適正な療養費制度の活用を指導した。

なお、会議に先立って会議資料等に資するため、「平成20年度療養費のアンケート調査」を実施した。

(4) 全鍼師会大会 in 北海道で分科会を開催

全鍼師会大会 in 北海道において分科会「保険部会」を開催。療養費制度の現状、問題点に対する取り組み状況を説明するとともに、質疑応答を行い、療養費制度の普及と制度の適正な運用指導に努めた。

(5) 保険推進委員会の開催

7月8日に開催し、以下について協議した。

1) 保険局活動報告

2) 日本保険鍼灸師会連合会委員会について

3) 全国保険担当者会議について

4) レセソフトについて

(6) その他

1) 療養費制度及びその支給申請に係る日常的な相談指導を実施した。

2) 療養費の支給申請代行業務の実施体制が十分でない3県に係る申請事務を代行した。

6 渉外局報告

(1) 東洋療法研修試験財団の理事会に会長が理事として出席

(6月17日、3月18日)

(2) 国際医療技術交流財団の理事会・評議会に会長が出席

(12月7日、3月30日)

(3) 天皇皇后陛下御大婚50年をお祝いする集いに会長が出席

(4月10日)

(4) 天皇陛下即位20年をお祝いする国民祭典「祝賀式典」に会長が出席

(11月12日)

(5) その他、理事会等の場において、行政、関係団体等外部との折衝、連携、協力について、渉外局の立場から必要な意見を述べた。

7 組織局報告（含：観光地部・組織強化部・観光地対策委員会・組織強化委員会）

新規会員の確保を図るため、全国57の鍼灸マッサージ養成専門学校等に入会案内を作成配布するとともに、会長他理事等が卒業式に出席し、会長の表彰状及び記念品を贈呈した。

観光地部

- (1) 全鍼師会大会 in 北海道にて観光地分科会を開催し（11月2日）、「鍼灸マッサージ師による温泉療養コーディネーター」の講師を担当。
- (2) 愛媛県師会学術研修会（6月27～28日）に講師として出席し、「温泉とは、きゅうマッサージで健康づくり」について講演。
- (3) 関係団体等への働きかけ
静岡県師会観光地対策部会並びに豆相連絡協議会（6月24～25日）に参加し「温泉とは、きゅうマッサージで健康づくり」を提言。

組織強化部

組織強化部は、経営力の強化、組織力の強化を活動目標に下記の事業を実施した。

- (1) 経営力強化
 - 1) 各師会の研修会などで経営について講演を行った。
 - ・ 関東甲越ブロック協議会「治療院経営シンポジウム」（7月26～27日）
 - ・ 横浜市鍼灸マッサージ師会「流行る治療院」（9月4日）
 - ・ 横浜市鍼灸マッサージ師会「口コミパワー～その発生の仕方～」（9月25日）
 - 2) 全鍼師会大会 in 北海道での分科会を開催した。
全鍼師会大会 in 北海道において「流行る治療院をつくろう！～コストゼロ、魔法の集客術とは!?～」、「ジャルアカデミーによる接遇講座～自己流から一流へ～」を開催。
 - 3) 経営本（CD）を配布した。
依頼により各師会研修会参考資料及び会員個人研修用に配布。また「経営本」の中の業務に使えるテンプレート集、経営アイテムのみの要望もあり配布。
- (2) 組織力強化
 - 1) 各師会向け入会パンフレットのテンプレート作成と配布をした。

会員増強の一環として全鍼の現在の活動や今後の展望、夢が膨らむ「入会パンフレット（師会用）のテンプレート」の作成配布、師会に対し入会パンフレットの作成方法のノウハウを指導。

2) メーリングリスト（ML）の活性化を行った。

情報共有するため、MLを全鍼サーバーに機能移行し、あわせて体制の再構築を実施。現在、組織強化ネットは組織強化担当者59名のうち49名が参加。

3) 組織強化委員会開催（2月13～14日）

伊藤組織局長と4名の委員が大阪にて「会員増強のアイデア」及び「全鍼師会全国大会の分科会」について検討。

8 広報局報告（含：IT委員会）

斯界通信の発行

第180号～191号までを発行した。発行数は年間で総数135,408部となっており、このうち会員に対しては126,307部、会員外に対しては9,101部を発行した。また、視覚障害を有する会員等に対しては、点字版、テープ版合わせて26,071部を発行した。

内訳の詳細は以下のとおりである。

平成21年4月～平成22年3月 斯界通信発行数 内訳表 (部)

墨字版		点字版		テープ版	メール版	合計	
会員	会員外	会員	会員外	会員	会員	会員	会員外
96,203	8,141	20,480	960	5,591	4,033	126,307	9,101

IT委員会報告

(1) 当会はホームページをもって、会員のみならず会員以外の鍼灸マッサージ師や一般国民にも役立つ鍼灸マッサージに関する情報を提供しており、平成22年3月23日現在でアクセス総件数は累計で510,508件にのぼっている。

(2) 委員会の開催

2月11日 全鍼師会会館において開催

議題：公益法人社団としてのIT戦略について

(1) 「第8回 全鍼師会大会 in 北海道・日東医学会北海道大会」共同開催

日 時 11月1～2日

場 所 シャトレーゼ・ガトーキングダム・サッポロ 北海道札幌市
・参加総数 651名

(2) 実行委員会の開催等

北海道大会及び次の石川大会の開催に関し、次のとおり実行委員会の開催等を行った。

1) 第3回 全鍼師会大会 in 北海道・日東医学会北海道大会 合同実行委員会

日 時 6月20日

会 場 全鍼師会会館

第1号議案 北海道大会リハーサルの概要について

第2号議案 日東医学会との調整について

- ・合同プログラム（特別講演・学術講演）の運営担当者を提案
- ・フリートークの担当者について理事会案を提案

2) 第1回 全鍼師会大会事業部委員会

日 時 6月21日

会 場 ホテルJALシティ四谷東京 1012号室

第1号議案 理事会報告

北海道大会の進捗状況について

第2号議案 北海道大会リハーサルについて

- ・日時、会場の確認
- ・各担当の確認
- ・学生との交流会について

第3号議案 公益事業について

3) 北海道大会会場視察

日 時 9月26～27日

場 所 シャトレーゼ・ガトーキングダム・サッポロ 北海道札幌市
・大会実行委員リハーサル・担当確認

4) 第4回 全鍼師会大会 in 北海道実行委員会

日 時 11月14～15日

場 所 北海道札幌市

- 第1号議案 北海道大会運営の総括（北海道師会からの意見聴取）
- 第2号議案 JTB北海道との次年度以降の運営に関する調整確認
- 第3号議案 その他

5) 第1回 全鍼師会大会 in 石川（仮称）実行委員会

日 時 12月20日

場 所 全鍼師会会館

第1号議案 日東医学会について（日東医報告）

第2号議案 北海道大会総括

第3号議案 全鍼師会大会&日東医学会 作業確認書・担当の確認

第4号議案 石川県より開催趣意書（案）について

第5号議案 大会名称について

募集したものから次の3つを選出し事業局及び理事会へ提出。

- ・あんしん大会
- ・東洋療法推進大会
- ・日本未病治大会

介護事業推進委員会

鍼灸マッサージ師が地域支援事業に加わること等によって、地域における介護（予防）問題に果たす役割を一層高めることとなるよう次の事業を計画、実行した。

(1) 第3回 「地域健康づくり指導者研修会 Part 1」の開催

日 時 6月21～22日

場 所 ホテルJALシティ四谷東京

(2) 第3回 「地域健康づくり指導者研修会 Part 2」の開催

日 時 12月20～21日

場 所 ホテルJALシティ四谷東京

37名の修了者に修了証を発行した。（財団生涯研修単位申請済）

(3) 全鍼師会大会 in 北海道 分科会担当

テーマ 「早わかり介護予防 ～実践編～」

日 時 11月2日

内 容：

- 1) シンポジウム（シンポジスト千葉・埼玉・神奈川・プラス他府県の4名）
 - ・地域支援事業とは
 - ・地域健康づくり指導者研修会の開催内容報告
 - ・各地の取り組み

- ・フロアとの意見交換
- 2) 「地域健康づくり指導者研修会」デモンストレーション
 - ・経絡テスト
 - ・介護予防運動の実際
- (4) 介護予防（ゼンシン体操）ポスターの作成・配布
12,000枚を作成し、施術所等に配布するとともに、ホームページからダウンロード、プリントできることとし、その普及に努めた。

10 視覚障害局報告（含：視覚障害委員会）

- (1) 障害者委託訓練事業を（財）東京しごと財団から委託を受けて上期、下期の2期、視覚障害者5名に対し実施。うち就職者4名。
- (2) 視覚障害特別支援学校へ出向き情報提供、学習及び就業等に関する講演、質問、相談に対処。
- (3) 全鍼師会大会、日東医学術大会共同開催大会において「フォーラム——リスキーマネジメント～この現実から学ぶもの～」を開催。
- (4) 視覚障害を有する、鍼、灸、マッサージ師に対して、広報誌、会議資料、その他の文書等の点字等による情報提供、その他のサポートなどを、他の部局とも連携して対応。
- (5) 鍼、灸、マッサージに関する視覚障害者関連の会議等への出席と情報の収集——サイトワールド2009など。
- (6) 鍼、灸、マッサージに関する情報メディア等の研究と情報収集——関係機関との協議、懇談など。
- (7) 他団体との協力事業
 - ・（財）杉山検校遺徳顕彰会 杉山和一生誕400年記念事業に関する協力——実行委員会に委員派遣、募金活動など。
 - ・（財）東洋療法研修試験財団 情報提供編集部会への協力
 - ・日本東洋医学系物理療法学会の事業協力

視覚障害委員会

- (1) 全鍼師会大会、日東医学術大会共同開催大会における「フォーラム——リスキーマネジメント～この現実から学ぶもの～」の開催を検討。
- (2) 視覚障害を有する、鍼、灸、マッサージ師の障害を有することのかかわる業務、学習等に関する問題点の改善に対する件等の協議。

(3) その他

11 会館運営委員会報告

- (1) 会館の運営は各業者と連携をとり保守管理を行った。
- (2) 会館の防災・災害対策としては消火器・避難器具の点検を実施し、会館利用者への安全並びに防災管理を徹底した。

12 選挙管理委員会報告

- (1) 本年度は選挙管理委員会委員の任期満了にあたり、代議員会の承認を得て理事会が、新選挙管理委員会委員を委嘱した。
- (2) 平成21年度定期代議員会（5月17日開催）において、会長並びに監事の任期満了に伴う改選を行った。